

平成 27 年 3 月 26 日

各 位

株式会社 三井住友銀行

株式会社オガワエコノスの
「S M B C 環境配慮評価私募債 eco バリュー up」買受けについて

株式会社三井住友銀行(頭取:國部 毅)は、株式会社オガワエコノス(代表取締役会長:小川 勲)の発行する「S M B C 環境配慮評価私募債 eco バリュー up」を買受け致しました。

三井住友銀行では、環境問題を重要な経営課題のひとつと認識し、地球環境保全と企業活動との調和に取り組んでおります。特に、地球環境の維持向上につながる商品の開発やソリューション提供は、金融機関として本業を通じ社会的責任を最も効果的に果たせる業務と考え、力を入れて取り組んでおります。

「S M B C 環境配慮評価私募債 eco バリュー up」は三井住友銀行独自の環境配慮評価基準で定量評価を行い、環境経営の実務に詳しい大手監査法人等に定性評価を委託することで、評価結果に応じた買受け条件の設定を行うとともに、評価結果の提供や、現状の分析、今後の改善余地、先進事例などをご提供する私募債です。

今回対象となった、株式会社オガワエコノスに対する環境配慮状況の評価結果は、企業経営において非常に優良かつ特徴的な環境配慮を実施されているとの評価となりました。

特に、高齡化社会に向けての新規支援事業「お出かけ隊」と「ふるさとを片づけたいの～」を立ち上げ、社会ニーズに応えるサービスを開発されている点、RPF 事業の海外進出に向け、3工場でRPFのJIS規格認証取得を推進されている点、新たなコミュニケーションの場ともなる、環境負荷を大幅に低減した新焼却施設の建設を推進されている点、省エネの更なる推進により、エネルギー原単位を約9%改善されている点、労働安全衛生のマネジメントシステム規格OHSAS18001を新たに認証取得された点などが高く評価されました。

なお、株式会社オガワエコノスに対する「S M B C 環境配慮評価私募債 eco バリュー up」の買受けは2回目となり、前回の評価結果を受け、CSR経営を多方面に亘り進化されております。

三井住友銀行では、本業を通じ、環境配慮を進める企業の活動を支援して参ります。



新焼却施設完成予想図



環境学習・工場見学風景



R P F 出荷作業風景

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。